

# 自己評価及び外部評価結果表

## サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

### .理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

### .安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

### .その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

### .その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

### .サービスの成果に関する項目

**ホップ 職員みんなで自己評価!**  
**ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!**  
**ジャンプ 評価の公表で取り組み内容をPR!!!**

- サービス向上への3ステップ -

### 【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。

各自己評価項目について、「取組みの事実」を記入し、取組みたいに を付け、適宜その内容を記入すること。

「取組みの事実」は必ず記入すること。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

### 用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。  
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。

チーム = 一人の人の関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。  
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名

グループホームレオナ

(ユニット名)

Bユニット

記入者(管理者)

氏名

管理者 石川千寿子

評価完了日

平成 19 年 1 月 31 日

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価)		
			現在の理念はスタッフと入所者で話し合って共同で作っている。		入所者の入所年数も長くなり要介護度も高くなってきているため 現在の状況にあった理念を再度話し合って改善したものを作りたい。その中で地域の人との関わりを考えていきたい。
			(外部評価)		
			各ユニットごとに利用者と職員で話し合い、ケア面についての理念を作っておられる。		さらに、地域とどのように関わるかということを組み込み、新たに事業所の理念を作ることを検討されていた。
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価)		
			スタッフは理念を理解し日々の介護に取り入れている。随時カンファレンスをし介護を振り返っている。		
			(外部評価)		
			管理者は、日頃から理念に基づいたケアが実践できるよう職員に話されている。		
3		家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	(自己評価)		
			レオナ新聞を不定期ですが発行している。その中で職員の介護への姿勢、入所者の暮らしをわかりやすく書いている。地域へも配布している。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>2. 地域との支えあい</b>					
4		隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) 入所者との散歩時に積極的に挨拶をしている。近所の方からも声をかけてもらえるようになった。運営推進会議で自治会の方や民生委員の方に参加してもらっている。		
5	3	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 行事参加への声かけは必ずしている。回覧版で回してもらえよう 承諾を得ている。		地域の行事（盆踊りや体育祭など）参加を検討している。
			(外部評価) 事業所主催の納涼大会・運動会時には、地域のお年寄りや子供達も参加し、パン食い競争や綱引き等、一緒に楽しまれている。散歩中に出会った人とお話されることもあり、事業所にも来ていただけるよう声をかけておられる。		今後は、地域の井手掃除や草引き・自治会の会合等にも参加していきたいと考えておられた。
6		事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) 毎年 中学生の職場体験学習を受け入れている。		
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
7	4	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 自己評価及び外部評価はサービスを見直すよい機会になっていると思う。前回で指摘された所は話し合い（口腔アセスメントを作ったり）改善している。		
			(外部評価) 自己評価は、すべての職員で取り組まれ、管理者・運営者が協働しまとめられた。前回の外部評価を受けた後、共用空間作り・口腔ケアの改善に向けて取り組まれた。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの 実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価)		
			外部評価の内容を説明し具体的な例をあげ意見交換をしました。運営推進会議の参加者は 地域の方を中心に幅広く声かけしています。		
			(外部評価)		
			事業所から外部評価について説明をされている。自治会長から自宅で一人暮らしをされている地域のお年寄りを支える地域の仕組み(救急ボタンの設置)について説明いただいた。		
9	6	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議 以外にも行き来する機会をつくり、市町村 とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	(自己評価)		
			市町村が管轄している”ふれあい相談員”の方が毎月1回訪問され 行き来する機会がある。その中でサービスの質の向上をはかっている。		
			(外部評価)		
			市のふれあい相談員は、運営推進会議に参加されている。管理者は、市と協働し認知症キャラバンメイトとして活動されており、取り組みの様子は広報にも掲載されている。		
10		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業 や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、 個々の必要性を関係者と話し合い、必要な 人にはそれらを活用できるよう支援している	(自己評価)		
			現在活用している方はいないが学ぶ機会は持ちたいと思っている。		
11		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法 について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や 事業所内で虐待が見過ごされることがない よう注意を払い、防止に努めている	(自己評価)		
			学習会を開催しています。新入職員には関連法の説明が出来ていないので実施したいです。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
12		契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 契約時に口頭、文書で説明しています。家族等の不安、疑問点は必ず尋ねるようにしています。		入所途中で家族の方等が心配される点、医療との連携や重度化になった時、看取りも問題などは詳しく話し理解してもらっています。
13		運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 文書・口頭で苦情相談窓口を伝えて その中に公的相談窓口の紹介をしている。		ふれあい相談、傾聴ボランティアなど定期的に来て頂き話をしてもらっています。
14	7	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	(自己評価) 暮らしぶりや健康状態は個々に遠方に家族がおられる方もいるので手紙をだしたりしています。金銭管理は出納帳をつくり家族にも目を通して見てもらい 印をもらっています。		
			(外部評価) ご家族来訪時には、ご本人の暮らしぶりについてお話されている。遠くにお住まいのご家族には、毎月お手紙で暮らしぶりを伝えておられる。利用者一人ひとりのフォトアルバムが居室入り口にかけられていた。		
15	8	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 文書・口頭で苦情相談窓口を伝えて その中に公的相談窓口の紹介をしている。		
			(外部評価) 利用者一人ひとり担当の職員が配置されており、ご家族と密に連絡を取り合っておられる。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 日頃から声かけをしてくれ意見を聞いてくれていると思う。カンファレンスを随時行い意見交換をしている。		
17		柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) 勤務は2交代制を基本としているが行事や外出、受診などの時は話し合いにより時間を換えている。		
18	9	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) 基本的に移動はない。  (外部評価) 事業所では、新人職員の試用期間を3ヶ月設けておられる。ユニット間での異動はなく、利用者と職員との馴染みの関係を大切にされている。		
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
19	10	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 受けた研修の希望をかなえてくれたり 職員の勤務年数によって研修内容を変えたりしている。  (外部評価) 事業所では、職員の希望も聞きながら研修の年間計画を立て、職員個々のさらなるスキルアップに取り組んでおられる。又、月例会で研修報告をされ、全職員に内容が周知されている。		なかなか勉強会を開く機会がとれないので工夫したい。  今年度、県GH協議会の相互評価に取り組む予定がある。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価)		
			キャラバンメイトを開催している。相互評価に参加している。他施設にお年よりと共に出かけている。		
			(外部評価)		
			県GH協議会主催の東予地区研修会に参加され、他の事業所の職員と一緒に勉強されている。		
21		職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価)		
			親睦会を開いている。		
22		向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価)		
			職員の資格取得に協力、応援している。		
<p><b>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b></p> <p><b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b></p>					
23		初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価)		
			担当職員をつけ 個別に深いつながりが出来るよう話しやすい環境をつくっていけるよう努力している。		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
24		初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価)  話し合い要望を聞く機会は多く作られていると思う。		
25		初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価)  入居に際しては家族と入居の経緯など十分話し合い対応しています。		
26	12	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価)  認知症対応型通所介護(共用型)を利用し入所に結びつけていければと考えています。  (外部評価)  入居前、利用予定者のご自宅や病院等に伺い、ゆっくりとお話をされている。又、入居間もない間は、ご家族に頻繁に来ていただけるよう声をかけ、外泊や電話でお話できるよう支援されている。		現在、認知症共用型デイサービスを市に申請されており、サービスを通して利用者と馴染みの関係を作りやすいような環境の整備をすすめておられた。
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
27	13	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価)  ゴミだしや 花の水やり 食事作りなど職員と一緒に 行い達成感が得られるように声かけしています。  (外部評価)  職員は、利用者と一緒に家事をされたり、行事時の衣装や小物を一緒に作っておられる。又、利用者同士「大丈夫よ」と声かけしながら、相手の手をさずってあげたりする様子もうかがえた。		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 一緒に外出したり行事に参加してもらったりしています。		
29		本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) 面会時には話をし 日々の暮らしを家族に伝えたり 家族の疑問に答えたりし 努めている。		
30		馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている	(自己評価) 以前暮らしていた地域のサロンに参加したり 友人が訪れてくれたりする。		
31		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) 誕生会を皆で祝ったり なるべく皆で食事につどえる時間を作ったりしている。		
32		関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) 契約が終了した利用者がいないので分かりません。		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1.一人ひとりの把握</b>					
33	14	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価)		
			センター方式を利用し希望を聞いたり 本人本位の立場がとれるよう努力している。		
			(外部評価)		
			センター方式の様式を採り入れ、ご本人、ご家族の希望や意向の把握に努めておられる。家庭でされていたことは事業所でも継続できるよう支援されている。		
34		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価)		
			どんな生活をされていたか、性格など ご家族の方に尋ねている。		
35		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価)		
			一日を通して介護記録を記入するという形で具体的に本人の言葉をそのまま書いたりして把握している。		
<b>2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
36	15	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	(自己評価)		
			アセスメント、モニタリングなど 全員では言いえないが なるべく多くの職員が参加して行っている。		家族の方からもっと意見を取り入れるとよいと思う。
			(外部評価)		
			骨折入院時、職員は、何回も病院を訪ね、退院後、事業所でリハビリができるよう関係者と話し合われている。足湯や足のマッサージ等を介護計画に組み込み、実践しておられた。		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
37	16	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価)		
			3ヶ月ごとに行っている。または状態変化の大きい時は都度見直しをしている。その時に家族の意見も取り入れている。		
			(外部評価)		
			介護計画は、3ヶ月を目安に見直しされている。ご本人の体力低下時や退院時等には随時見直しされる他、入居直後は、一ヶ月毎に見直しされている。		
38		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価)		
			ケアチェック表は 本人の状態（顔の表情でチェックする）で記入している。本人の言葉をそのまま書いたり 様子を具体的に記入している。		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
39	17	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価)		
			家族の要望に応じて 訪問時刻が遅くても出入りできるよう柔軟に支援している。		
			(外部評価)		
			ご家族が事業所に宿泊することもできる。利用者が入居前に参加されていた地域のサロンに、継続して参加できるよう支援されている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
40		地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) 地域とのつながりが持てるように運営推進会議に呼びかけたりして意見交換の場を作っている。		
41		他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) 以前暮らしていた地区のサロンに参加している。これは社会福祉協議会のケアマネジャーの方から教えて頂きました。		
42		地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) 現在のところ必要性が生じていない。		
43	18	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 主治医に随時 相談できるようになっている。		
			(外部評価) 利用者それぞれにかかりつけ医を受診しておられ、ご家族が同行されている。日頃は、母体病院の医師が相談に応じてくれ、夜間も対応してくれるようになっている。		
44		認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) 随時 相談できるようになっている。		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
45		看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) 隣接した診療所看護師に相談にのってもらっている。		
46		早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) 以前入院された方は 病院に出向き リハビリ方法や生活上の注意点を相談し 早期退院できるように支援した。		
47	19	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) 家族の方とは看取りをどのようにするか 面会時などに確認しています。体調を崩した時など 主治医の話を家族と職員と一緒に聞くようにしています。それに基づき 職員とも話し合いしています。		
			(外部評価) 利用者が重度化した場合や終末期のあり方について、入居時や状態変化時、その都度ご家族と話し合いをされている。又、職員の意思も確認し、ご家族の協力を得て看取りができるようにされている。		
48		重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) ホーム内で出来る事、できない事は主治医、職員でその都度に確認し家族も含めた話し合いをしています。		
49		住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) 住み替えの経験がないので分かりませんが できるだけ情報交換していきたいです。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p><b>.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b></p>					
<p><b>1.その人らしい暮らしの支援</b></p>					
<p>(1)一人ひとりの尊重</p>					
50	20	<p>プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>(自己評価) 記録は一箇所にまとめ職員以外は取り出しができないようにしている。言葉や態度には気をつけている。</p>		
<p>(外部評価)</p>			<p>職員は、ご本人と一緒に洗濯物をタンスにしまうようにされている。又、外部者には利用者の個人情報については話さないように気を付けておられる。</p>		
51		<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	<p>(自己評価) 着たい服や 食べたい物、行きたい所を会話の中から聞き出している。利用者が選びやすいように選択肢を用意している。</p>		
52	21	<p>日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>(自己評価) なるべく利用者のしたい事ができるように努めている。過介護にならないように注意している。</p>		
<p>(外部評価)</p>			<p>職員は、日々、利用者個々に事業所でどのような過ごし方をしたいか、声をかけておられる。散歩や買い物等、ご本人の希望に沿って支援されている。</p>		

自己評価及び外部評価票

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又 は取組みを期 待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれがで きるように支援し、理容・美容は本人の望む 店に行けるように努めている	(自己評価) 好みに合った服を着てもらう。行事、外出時はお化粧 してもらっている。美容師が訪問し 好みの髪型にし てくれる。希望があれば行きつけの美容院に行く事も できる。		
54	22	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひ とりの好みや力を活かしながら、利用者と 職員と一緒に準備や食事、片付けをしてい る	(自己評価) その人に合った関わり 食事の下準備、味付け、味 見、食器拭きなどしてもらっている。現在 要介護度 の高い人が多いので介助する人がいて 食事は一緒に できていません。 (外部評価) 職員は、利用者と一緒に食材の下ごしらえや配膳等を されていた。ご近所やご家族からのいただきものも多 く、会話を楽しみながら和やかな食事の様子であっ た。		
55		本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たば こ等、好みのものを一人ひとりの状況に合 わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) タバコやお酒をたしなむ人は 現在いませんがコー ヒーの好きな人、甘い物が好きな人にはそれぞれ用意 している。		
56		気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一 人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活 かして気持ちよく排泄できるよう支援して いる	(自己評価) オムツをしていても なるべくトイレで排泄できるよ うに支援している。尿意、便意はなくても マッサージ で自然排泄できている人もいる。		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
57	23	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価)		
			曜日、時間は決めているが、個人に合わせた入浴ができるようにしている。		
			(外部評価)		
			入浴は、月・金曜日となっているが、夏場のシャワー浴の他、希望により随時入浴できるようになっている。入浴剤、ゆず・みかんの皮等で入浴を楽しまれている。必要であれば一階デイサービスの機械浴も利用することができる。		
58		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価)		
			日中 身体を動かしたり 適度な睡眠をとったりして夜間の安眠につなげている。介護記録を活用して個人の睡眠パターンを把握している。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価)		
			カラオケが趣味だった人は行事で披露してもらったり、農業を営んでいた人は野菜を作ったりしている。		
			(外部評価)		
			ベランダには野菜や花を育てておられ、利用者は、めだかのお世話をされている。習字の得意な方にはイベントのプログラム等も書いてもらっている。「ギャラリー城川のかまぼこ板の作品展」に作品を出品される方もおられる。		管理者や職員は列車に乗る機会を作ったり、利用者一人ひとりの行きたいところへ行くような支援にも取り組んでいきたいと考えておられた。
60		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価)		
			お金の管理をしている人は1人だけで 自由に使っています。外出などの小遣いは都度 もってもらっています。		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
61	25	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価)		
			気候のよい時期は積極的に屋外で過ごしています。本人の希望時にも すぐに対応できるようにしています。		
			(外部評価)		
			時にはコースを変えながら日常的に散歩をされている。買い物、花見やドライブに出かけられたり、ご本人の希望で映画を観に行かれることもある。また、海水浴や温泉、演劇等も楽しまれている。		
62		普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価)		
			希望のある方にはなるべく希望に添うよう支援しています。		
63		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価)		
			希望があれば電話をいつでもかけられます。落ち着かない時など職員の勧めで電話をかけることもあります。		
64		家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価)		
			家族だけでなく 友人や知人の面会も多いです。声かけにて気軽に来れる雰囲気作りを心がけています。		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価)  現在 身体拘束はないと思う。全ての職員が身体拘束について正しく理解していると思う。		
66	26	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価)  日中は鍵はしていない。夜間は外からの防犯のため玄関の施錠をしている。  (外部評価)  玄関は日中開放されている。		
67		利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価)  利用者の側にいるよう 心がけ居室へ戻っている時もさりげなく様子をみている。日勤者同士で声を掛け合い 目配りしている。		
68		注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価)  薬や洗剤は入所者の手の届かない所で管理している。刃物は本数をチェックし所定のところへ保管している。		
69		事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価)  誤嚥しやすい方の食事方法を職員全員で考えたり ヒヤリハット報告を記入したり 予防に努めている。		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価)  救命救急講習に職員全員が 毎年参加している。		
71	27	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価)  運営推進会議に地域の消防団員の方にも参加してもらう話を聞きました。地域の防災訓練と一緒にする予定です。  (外部評価)  運営推進会議で地域の消防団員と話し合いされている。消防署員立会いの下、避難訓練を実施し、アドバイスをいただいている。又、地域の避難場所も確認されている。		運営推進会議時等で、地域の方達に事業所の構造等も見えていただき、いざという時に協力いただけるようお願いしたいと考えておられた。地域の消防団の方より提案があり、今後、地域の消防団と一緒に消防訓練を実施することを予定されていた。
72		リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	(自己評価)  必要な時は都度 話しています。契約時にも話しています。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価)  毎朝、昼食後と時間を決めてバイタルチェックをして平常時の数値をスタッフで周知している。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
74		<p>服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>薬歴管理表でチェックしている。わからない事は主治医に相談している。</p>		
75		<p>便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>適度な運動と腹筋マッサージをしたり 牛乳を飲んでもらうなどしている。</p>		
76		<p>口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>口腔アセスメントを作成し 個人の状態を見直し 声かけをしたり 介助したりしている。</p>		
77	28	<p>栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>1回の量で補えない人は間食も含め 数回に分けて食べたり 高カロリーのゼリーで栄養を補ったり 個別にかえている。</p>		
			<p>(外部評価)</p> <p>旬の野菜を中心に献立を立てておられる。小さく切ったりミキサー食にもされる等、喉の通りを良くされていた。宅配牛乳やヨーグルトを取っている方もおられる。</p>		
78		<p>感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)</p>	<p>(自己評価)</p> <p>感染症対策委員会を設け 勉強会等をしている。</p>		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
79		<p>食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>まな板、フキンの漂白、消毒や冷蔵庫の清掃など 注意している。</p>		
<p><b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b></p> <p>(1)居心地のよい環境づくり</p>					
80		<p>安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>花を植えたりしている。</p>		
81	29	<p>居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>畳スペースを作り 昔のタンスを置いたり 日当たりのよい所にソファを置いたりし くつろげる空間作りに心がけている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>二階居間の畳は、時々様子により敷いたり上げたりされている。三階ユニットは、車椅子を使用される方も多く、車椅子でも自由に動けるよう置き物を少なくされている。</p>		<p>より生活感ができるように工夫したい。</p>
82		<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>ソファで横になってテレビを見たり 畳に足を伸ばしたりと思い思いに過ごされていると思う。</p>		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	30	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好み のものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価)		
			冷蔵庫やテレビなどの家電製品や以前から使っていた鏡台を持ってきたり お仏壇を置いたりと自由にされている。		
			(外部評価)		
			ご本人の希望により、居室に畳を敷くこともできる。壁紙をご本人の好みのもにリフォームされている居室もあった。居室で趣味の布人形等を作る方もおられた。		
84		換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価)		
			窓を開け 自然の風が入ってくるようにしている。温めすぎ 冷やしすぎのないように温度調整している。		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価)		
			車椅子の方が多いため ゆったりとしたスペースを確保している。		
86		わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価)		
			トイレの場所を分かりやすく明示している。ガラスに貼り絵や飾りをして ぶつからないように工夫している。		
87		建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	(自己評価)		
			ベランダで野菜を育てたり 屋外で日光浴などして楽しんでいる。		

. サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	判断した具体的根拠
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (自己評価) ②利用者の2/3くらいの 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない	利用者の思いや願いを聞く努力はしている。介護度が高く 本人の意思が伝わりにくい方も多いので どこまで近づけるか判断しにくい。
89	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (自己評価) ①毎日ある 2 数日に1回程度ある 3 たまにある 4 ほとんどない	雑務に追われる事なく なるべくたくさん 利用者の側にいるよう日常的に意識して行っています。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (自己評価) ②利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	食堂で過ごしたり自分の部屋で過ごしたりと 思い思いに過ごされています。身体がきかない人も車椅子に座らせっぱなしにならないよう工夫しています。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (自己評価) ②利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	以前の楽しみ、カラオケや野菜作りなど できるように支援しています。
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (自己評価) ③利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	車椅子の方 体調不良の方などおられ 全員ではないが 利用者の希望を聞きながらドライブ、散歩などしています。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	近くに相談できる医師がおり また家族の方の意見も取り入れながら安心して暮らせていると思います。
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	活発に動ける方 動けない方 それぞれに合わせ 個別の支援ができています。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (自己評価) ②家族の2/3くらいと 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	遠方の方もおり なかなかコミュニケーションが図れない場面もありますが手紙を書くなどし努力しています。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (自己評価) 1 ほぼ毎日のように 2 数日に1回程度 3 たまに ④ほとんどない	共用型の通所介護に期待したいです。

項目	取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97	①大いに増えている (自己 2 少しずつ増えている 評価) 3 あまり増えていない 4 全くいない	消防団の方や自治会の方など 幅広く参加を呼びかけ理解者が増えていると思います。
98	①ほぼ全ての職員が (自己 2 職員の2/3くらいが 評価) 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない	それぞれ個性があり それを活かしながら仕事ができていると思います。
99	②利用者の2/3くらいが (自己 1 ほぼ全ての利用者が 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	要介護度の高い方が多く判断しにくいですが細かなサービスが出来ていると思います。
100	②家族等の2/3くらいが (自己 1 ほぼ全ての家族等が 評価) 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない	職員との会話のなかからも皆さん気軽に話し掛けで下さり満足してくれていると思います。

**【特に力を入れている点・アピールしたい点】**  
 (この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

利用者皆で楽しめる行事の企画や個別なサロン参加など 多様なサービスを試みている所だと思えます。